

当院の内視鏡検査について

当院では『消化器疾患の早期診断と早期治療』を目的とし、
下記の内視鏡検査を行っています。

※ 緊急時を除き、検査は原則『診察後の予約制』となっております。



上部内視鏡について

『上部』は、
食道・胃・十二指腸
のことを指します

上部内視鏡とは？

上部内視鏡検査は、胃や十二指腸を直接カメラでみる事ができる為、胃がん・食道がんの早期発見や逆流性食道炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍などの診断が可能な検査です。その際、必要に応じて粘膜組織の一部を採取(生検)し、ヘリコバクターピロリ菌の検査や組織(細胞)検査などを行います。(血栓剤や抗凝固薬、抗血小板薬を内服中の場合は、組織生検が出来ない場合もあります)

経鼻内視鏡検査

鼻から内視鏡を挿入し、上部消化管の内視鏡検査を行います。経口内視鏡検査と比べ、検査中の苦痛や嘔吐反射が少ないと言われています。ただし鼻から行う検査の為、検査後は鼻出血をおこしやすくなります。その為、検査後には強く鼻をかんだり、こすったりしないよう、気を付けてください。

経口内視鏡検査

口から内視鏡を挿入し、上部消化管の内視鏡検査を行います。患者さんのご希望、疾患・検査上の必要性によって経鼻内視鏡検査が行えない場合、こちらの経口法による検査を行います。



大腸内視鏡について

大腸内視鏡とは？

大腸内視鏡検査とは、便潜血検査で異常を指摘されたり、腹痛・下痢といった腹部症状のある方が主に対象となる検査です。この検査は肛門から内視鏡を入れ、大腸を内側から観察します。検査中に病変が発見された場合、必要に応じて組織生検、ポリープが発見された場合には色素散布(人体無害)を行うこともあります。また切除が適当と判断された場合には、内視鏡的ポリープ切除を行います(場合により、関連施設での切除をお願いさせていただくこともあります)。ポリープ切除を行った場合、当院では経過観察のために一泊二日の入院が必要となります。

検査について

上部内視鏡・大腸内視鏡は共に、緊急時を除き予約制の検査となっております。原則、初診の日に検査を行うことは出来ませんので、ご了承ください。

